

シリーズ「ゆんたんざ未来世」特別版～チビチリガマ慰霊祭、首相官邸前座り込み、県民大会までの記録

「チビチリガマから日本国を問う！」

上映とトーク

トークゲスト:金城実さん(彫刻家)、西山正啓監督



2010年/ドキュメンタリー/104分/西山正啓監督・製作作品

迷走した鳩山新政権のおかげで「普天間」「辺野古」という固有名詞が連日テレビ、新聞で取り上げられ全国のどこでも通用するくらい普及した。今や問題の核心は日本に駐留する外国の軍隊、日米安全保障条約そのものに関心が向けられ始めている。戦後65年間もの永きに亘り外国の軍隊が駐留する国が主権国家といえるのか。沖縄はこの日本国の主権者意識を根源的に問うている。

【西山監督からのメッセージ】

1987年「チビチリガマ(強制集団死)世代を結ぶ平和の像」を協働で製作した彫刻家・金城実さんと知花昌一さんが沖縄の主権回復と主権在民を声高に唱えて日本国総理官邸前に座り込んだ。チビチリガマの悲劇は行動する二人の原点なのだ。数人の行動が社会を大きく動かすことがある。ぜひ多くの人たちに観て欲しいドキュメントである。

日時:2010年8月17日(火)午後6時半～9時半

資料代:1000円

会場:世田谷生活文化情報センターセミナールーム

※当日会場にて大木晴子、高橋美香両氏が撮影した「金城実ミニ写真展」を開催します。



金城 実さん(彫刻家)

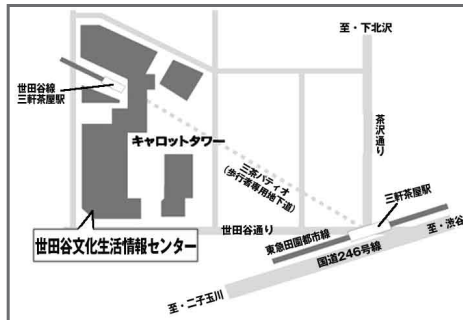
1939年沖縄県浜比嘉島生まれ。京都外国大学を卒業後、西宮市立西宮西高校、近大附属高校で英語を教えながら彫刻活動を始める。1971年「戦争と人間」全国キャラバン、1986年から沖縄読谷村の人々と協働で製作活動を開始。代表作「残波大獅子」「長崎平和の母子像」「チビチリガマ世代を結ぶ平和の像」「戦争と人間100MLリーフ」。他に「土の笑い」(筑摩書房)、「沖縄を彫る」(現代書館)、「民衆を彫る」(解放出版社)など著書多数。「沖縄靖国訴訟」原告団共同代表、「琉球親鸞塾」代表、金城実アトリエ主宰。

西山正啓さん(監督)

1948年山口県生まれ。86年から沖縄読谷村に滞在して映画「ゆんたんざ沖縄」を製作。2000年には「未来世を生きる～沖縄線とチビチリガマ」を発表。代表作に「しがらきから吹いてくる風」「梅香里」「ぬちどろ魂の声」「朋の時間～母たちの季節」「米軍再編・岩国の選択」「消えた鎮守の森」「貧者の一灯」(岩国シリーズ)三部作など。

主催:岩国と共に蓮の会 0422-32-3081 hachinoko@ba2.so-net.ne.jp

協力:今とこれからを考える一滴の会 03-5313-1525



【交通案内】

東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車徒歩2分(地下道直結)
東急世田谷線「三軒茶屋」駅下車0分
小田急バス・東急バス「三軒茶屋」下車徒歩1分
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1